

⑤ 建具 改修 工事	1 改修工法 (5.1.3)	・ かぶせ工法 ・ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法
	2 防火戸 (5.1.4)	・ 例示仕様 ・ 個別認定（認定番号： ） ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示（図面番号： ）
	3 見本の製作 (5.1.5)	・ 製作する ・ 製作しない
	4 防犯建物部品 (5.1.7)	・ 図示（図面番号： ）
	5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (3)	・ 再使用する ・ 再使用しない
	6 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.4.2) (表5.2.1)	外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ () ・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ） ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ） ・ 断熱ドアセット（等級 ） ・ 結露水の処理方法 ・ 図示（図面番号： ）
	(表5.2.2)	アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具（油断な環境の屋外） ・ BA-1 ・ BA-2 ・ () ・ 外部に面する建具（一般的な環境の屋外） ・ BB-1 ・ BB-2 ・ () ・ 内部に面する建具 ・ BB-1 ・ BB-2 ・ ()
	7 網戸 (5.2.3) (5)	・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ
	8 樹脂製建具 (5.3.2)～(5.3.5) (表5.3.1)～ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ） ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ） ガラス ・ 複層ガラス ・ () 建具特見寸法 ・ 図示（図面番号： ） 水切り ・ 図示（図面番号： ） ゼム板 ・ 図示（図面番号： ） 丁番 ・ 改修標準仕様書（表5.7.3）による ・ 図示（図面番号： ）
	9 鋼製建具 (5.4.2)	鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ） ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ） ・ 耐震ドアセット（等級 ） ・ H2400又はH950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示（図面番号： ） ・ 既存ドアクローザ放障力所、ドアクローザ新設（2カ所） ・ にぎり玉 1カ所
	10 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.2.2) (2) (5.5.3) (5.5.4) (5.6.3) (1) (5.2.3) (1)	鋼製軽量建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ） ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ） ・ 耐震ドアセット（等級 ） ・ H2400又はH950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示（図面番号： ） 表面仕上げ ・ 塗装 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板（・ HL ・ 鏡面） ・ ()
	11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級 ） ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ（等級 ） ・ 耐震ドアセット（等級 ） 材料 ・ SUS304 ・ ()
	(5.6.3)	
	(5.6.4)	表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()
	(5.6.5)	曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ
	12 建具用金物 (5.7.2)	金物の見え掛かり部等の材質等 ・ 改修標準仕様書（表5.7.1）による ・ 図示（図面番号： ）
	(5.7.4)	マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない 引渡用鍵筒 ・ 必要 ・ 不要

13	自動ドア開閉装置 (5.8.2)	駆動装置及び検出装置の性能値（ ・ 多機能トイレ出入口用 ） ・ 図示（図面番号： ）	
	(5.8.3)		
	(表5.8.4)	引き戸用検出装置の種類 ・ 図示（図面番号： ）	
	(5.8.3) (7)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし	
	14	自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)	自閉式上吊り引戸装置の性能値 ・ 改修標準仕様書（表5.9.1）による ・ （ ）
	⑨	重量シャッター ー (5.10.2)	種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度（ Pa以上）
	(5.10.2) (3)	開閉機能 ・ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	
	(表5.10.1)		
	(5.10.2) (6)	一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ （ ）	
	(5.10.3)		
	⑩	軽量シャッター ー (5.11.2)	開閉形式 ・ 上部電動式（手動併用） ⑩ 手動式 耐風圧強度（ Pa以上）
	(表5.11.1)		
(5.11.3)			
(5.11.4)			
17	オーバーヘッドドア (5.12.2)	型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度（ Pa以上） 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 (5.12.3)	
		ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	
	18	板ガラス (5.13.2) (1) (5.13.4)	・ 図示（図面番号： ）
	19	ガラス留め材 (5.13.2) (2)	・ シーリング ・ ガスケット（ ）
	20	ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)	・ 図示（図面番号： ） ・ 改修標準仕様書（表5.13.1）による
	21	ガラスブロック積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示（図面番号： ） 金属枠、補強材 ・ 図示（図面番号： ） 化粧カバー ・ 図示（図面番号： ） 工法 ・ 図示（図面番号： ） 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。
	22	排煙窓オペレーター	・ 故障力所補修（1カ所）
	⑥ 内装 改修 工事	1 一般事項 (6.1.3) (2)	既存開口切替の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 改修部分 改 修 範 囲 ・ 天井 ・ 図示（図面番号： ） ・ 壁 ・ 図示（図面番号： ） ・ 床 ・ 図示（図面番号： ）
		(6.1.3) (3)	天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）
		(6.1.3) (5)	天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）
		2 既存床撤去、下地補修 (6.2.2) (1) (7)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ・ 行う ・ 行わない
		(6.2.2) (1) (4)	合成樹脂間張り床材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法
(6.2.2) (3)		改修後の床の清掃範囲 ・ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲 ・ （ ）	

3	既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	既存開口切替の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ・ ()																																				
4	木下地等 (6.5.1) (3) (表6.5.1) (表6.5.2)	表面仕上げ 機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種 手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種																																				
	(6.5.2) (1) (4) (表6.5.3)	木材の含水率（工事現場搬入時、質量比） <table><tr><th>部材名称</th><th>種</th><th>別</th></tr><tr><td>下地材</td><td>・ A種</td><td>・ B種</td></tr><tr><td>造作材</td><td>・ A種</td><td>・ B種</td></tr></table>	部材名称	種	別	下地材	・ A種	・ B種	造作材	・ A種	・ B種																											
部材名称	種	別																																				
下地材	・ A種	・ B種																																				
造作材	・ A種	・ B種																																				
	(6.5.2) (2) (7)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table><tr><th>部位</th><th>樹種・寸法・形状</th><th>等級</th><th>含水率</th><th>保存処理</th><th>材面の品質</th></tr><tr><td>下地用</td><td>・ 図示</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>針葉樹製材</td><td>（図面番号： ）</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>造作用</td><td>・ 図示</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>針葉樹製材</td><td>（図面番号： ）</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr><tr><td>広葉樹製材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td></tr></table>	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質	下地用	・ 図示					針葉樹製材	（図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	造作用	・ 図示					針葉樹製材	（図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()	広葉樹製材	・ 図示 （図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質																																	
下地用	・ 図示																																					
針葉樹製材	（図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
造作用	・ 図示																																					
針葉樹製材	（図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
広葉樹製材	・ 図示 （図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()																																	
	(6.5.2) (2) (4) (6.5.2) (2) (9) (表6.5.4)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示（図面番号： ） 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ () 樹種 <table><tr><th>部</th><th>位</th><th>樹</th><th>種</th><th>泉</th><th>産</th><th>材</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	部	位	樹	種	泉	産	材																													
部	位	樹	種	泉	産	材																																
	(6.5.2) (3) (7)	造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table><tr><th>部</th><th>位</th><th>品</th><th>名</th><th>樹</th><th>種</th><th>見付け材面の寸法・品質・数</th><th>厚さ</th></tr><tr><td>造作用集成材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>化粧張り造作用集成材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td></td><td></td><td></td><td>・ ()</td><td></td></tr><tr><td>化粧張り構造用集成材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・ ()</td></tr></table>	部	位	品	名	樹	種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ	造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）						化粧張り造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）				・ ()		化粧張り構造用集成材	・ 図示 （図面番号： ）						・ ()				
部	位	品	名	樹	種	見付け材面の寸法・品質・数	厚さ																															
造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）																																				
化粧張り造作用集成材	・ 図示 （図面番号： ）	・ 図示 （図面番号： ）				・ ()																																
化粧張り構造用集成材	・ 図示 （図面番号： ）						・ ()																															
	(6.5.2) (3) (4)	「集成材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ 1.5％以下 ・ ()																																				
	(6.5.2) (4) (7)	造作用単板積層材 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table><tr><th>部位</th><th>品</th><th>名</th><th>寸法</th><th>表面の品質</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td>造作用単板積層材</td><td>・ 図示 （図面番号： ）</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td>・ ()</td><td></td></tr></table>	部位	品	名	寸法	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()																									
部位	品	名	寸法	表面の品質	防虫処理																																	
造作用単板積層材	・ 図示 （図面番号： ）	・ ()	・ ()	・ ()																																		
	(6.5.2) (4) (4)	「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示（図面番号： ） 含水率 ・ 1.4％以下 ・ ()																																				
	(6.5.2) (5)	「直文集成板の日本農林規格」による直文集成板 品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示（図面番号： ） ・ 合板等 <table><tr><th>品名（品目）</th><th>樹種名</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>防虫処理等</th><th>厚さ</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																													
品名（品目）	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																
	(6.5.3) (1)	接合具等 造作化粧板面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()																																				
	(6.5.3) (2)	種金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示（図面番号： ）																																				
	(6.5.5) (1)	・ 防虫、防蟻処理 適用部位 図示（図面番号： ） 保存処理性能区分 （ ） 薬剤の塗布等の処理方法 （ ） 附属書Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する（・ 薬剤の種類（ ） ・ 適用部材（ ）） ボード原料接着剤への防蟻・防蟻処理 （ ）																																				
	(6.5.5) (2)	・ 防虫処理 ・ 図示（図面番号： ）																																				
⑤	軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ・ 屋内 ・ 19形 ・ () ・ 屋外 ・ 25形 ・ () 形式及び寸法 ・ 屋外 ・ 図示（図面番号： ） ・ 耐震天井 ・ 図示（図面番号： ） ・ ふところ≥1.5m ・ 改修標準仕様書（6.6.4）(8) ・ 図示（図面番号： ） ・ 耐震対策天井システム 軽量天井 2.0kg/m ² 以下（武蔵場） （SLC工法：旭ビルド工業（株）同等品） ・ 耐震対策天井システム 野縁クリップ補強（武蔵場以外の室） （クリップ工法 補強クリップTM：（株）テンビルド同等品）																																				
	(6.6.4)	既存埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない（※使用する場合は、確認試験を行う） 既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う（図示（図面番号： ）） ・ 行わない ・ 確認試験の箇所数（箇所） ・ 確認強度（ ） 耐震性・耐風圧性を考慮した補強 ・ 図示（図面番号： ）																																				

特
記

特
記

柘植小学校防火設備・消防設備改修工事

図	名	建築	特記仕様書（2）
承	設	除	図
設	計	工	事
担	当	者	維
尺			
図	面		
No.			A-2

6

軽量鉄骨壁下地
(6.7.3)

スタッド、ランナー等の種類
・ 図示（図面番号： ）

7

ビニル床シート、
ビニル床タイル
及びゴム床タイ
ル張り
(6.8.2)
(6.8.2)(1)

材料
・ ビニル床シート【JIS A 5705（ビニル系材）】

種類の記号	色柄	厚さ	備考
F S	無地	2.0mm	

・ ビニル床タイル【JIS A 5705（ビニル系材）】

種類の記号	色柄	寸法	厚さ	備考
K T			2.0mm	

・ 帯電防止床シート又は床タイル

種類	性能	寸法	厚さ	備考

・ 複層障害者用床タイル

種類	形状	備考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

・ 耐動荷重性床シート

種類	厚さ	備考

・ 防滑性床シート又は床タイル

種類	寸法	厚さ	備考

・ ゴム床タイル

種類	色柄	寸法	厚さ	備考

工法
下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他（ ）

8

カーペット敷き
(6.9.3)(1)
(表6.9.1)

・ 織じゅうたん

種別	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄
・ A種	・ 羊毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()	・ 無地
・ B種	・ 絹糸	・ ループパイル			・ 柄物
・ C種	・ ()	・ カット、ループ併用	・ ()		

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）
・ タフテッドカーペット

パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ()
・ ループパイル			・ グリッパー工法	
・ カット、ループ併用		・ ()		

・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯電性	備考
	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ()

・ タイルカーペット

種別	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ()
	・ ループパイル	・ ()	・ ()	・ ()

下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()
見切り、押え金物 ・ 適用する（材質、種類及び形状 ・ 図示（図面番号： ））
織じゅうたんの接合方法
・ ヒートボンド工法 ・ ()
タイルカーペットの敷き方

平場	・ 市松敷き ・ 横様流し ・ ()
階段部分	・ 市松敷き ・ 横様流し ・ ()

9

合成樹脂塗床
(6.10.3)(2)(a)
(表6.10.4)
(6.10.3)(2)(b)
(6.10.3)(3)
(表6.10.5)～
(表6.10.8)

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
・ 薄膜流しのべ仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（ ・ 平滑 ・ 防滑）
・ 薄膜型塗床仕上げ（ ・ 平滑）

10

フローリング
張り
(6.11.4)
(表6.11.2)

・ 釘留め工法

材料	種別	樹種
・ フローリングボード （板太後用）		・ なら
・ 複合フローリング （板太後用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	・ ()

防湿処理 ・ 図示（図面番号： ）
・ 接着工法

材種	樹種	厚さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）	・ なら ・ ()		
・ フローリングブロック（直張用）			
・ 複合フローリング（直張用）			
・ A種 ・ B種 ・ C種			

緩衝材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示（図面番号： ）
塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（1液形、B種）
・ オイルステイン塗りのニスワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・ ()
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ D種の塗床 K T－（ ・ I ・ II ・ III ・ K ・ N ）

11

畳敷き
(6.12.2)
(表6.12.1)

①② せつこうボード、その他ボ
ード及び合板
張り
(6.13.2)
(表6.13.1)

材種	種別	厚さ(mm)
・ せつこうボード		壁 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
		天井 ・ 9.5(準不燃) ・ 12.5(不燃)
○ 化粧せつこうボード	○ トラバーチン模様 ・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ○ 9.5(準不燃)
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9() ・ ()
	・ 立体模様	・ 9() ・ ()
	・ タイプⅡ0.8FK	
・ けい酸カルシウム板		

(6.13.2)(8)
遮音シール材
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(5)(9)
合板類の張付け
・ A種 ・ B種
(6.13.3)(7)(7)
(表6.13.5)
せつこうボードの目地工法
・ 継目処理 ○ 突付け ・ 目隠し

13

壁紙張り
(6.14.2)

施工箇所	種類	防火性能
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃
		・ 不燃 ・ 準不燃

14

モルタル塗り
(6.15.3)
(6.15.5)
(6.15.6)

モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
既製目地材 ・ 使用する（形状： ）
床の目地 ・ 図示（図面番号： ）
下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示（図面番号： ）

15

タイル張り
(6.16.2)
(6.16.3)

伸縮調整目地
位置 ・ 図示（図面番号： ）
タイルの種類

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

(6.16.3)(2)
試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本張り ・ 行う ・ 行わない
既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

16

セルフレベ
リング材塗り
(6.17.2)
(6.17.3)

・ せつこう系 ・ セメント系
変厚（ ）mm

17

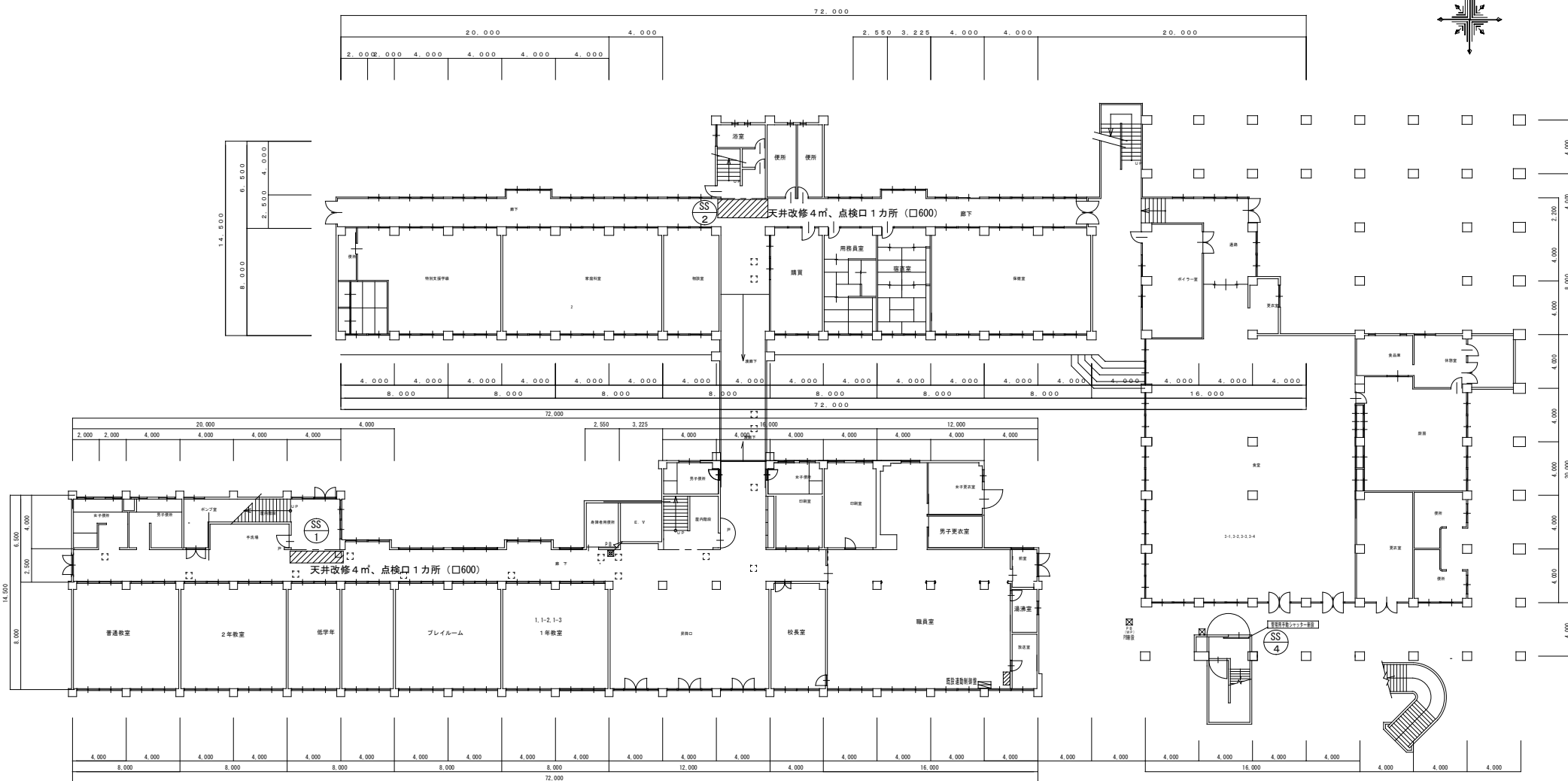
断熱材
(9.5.2)

断熱材打込み工法

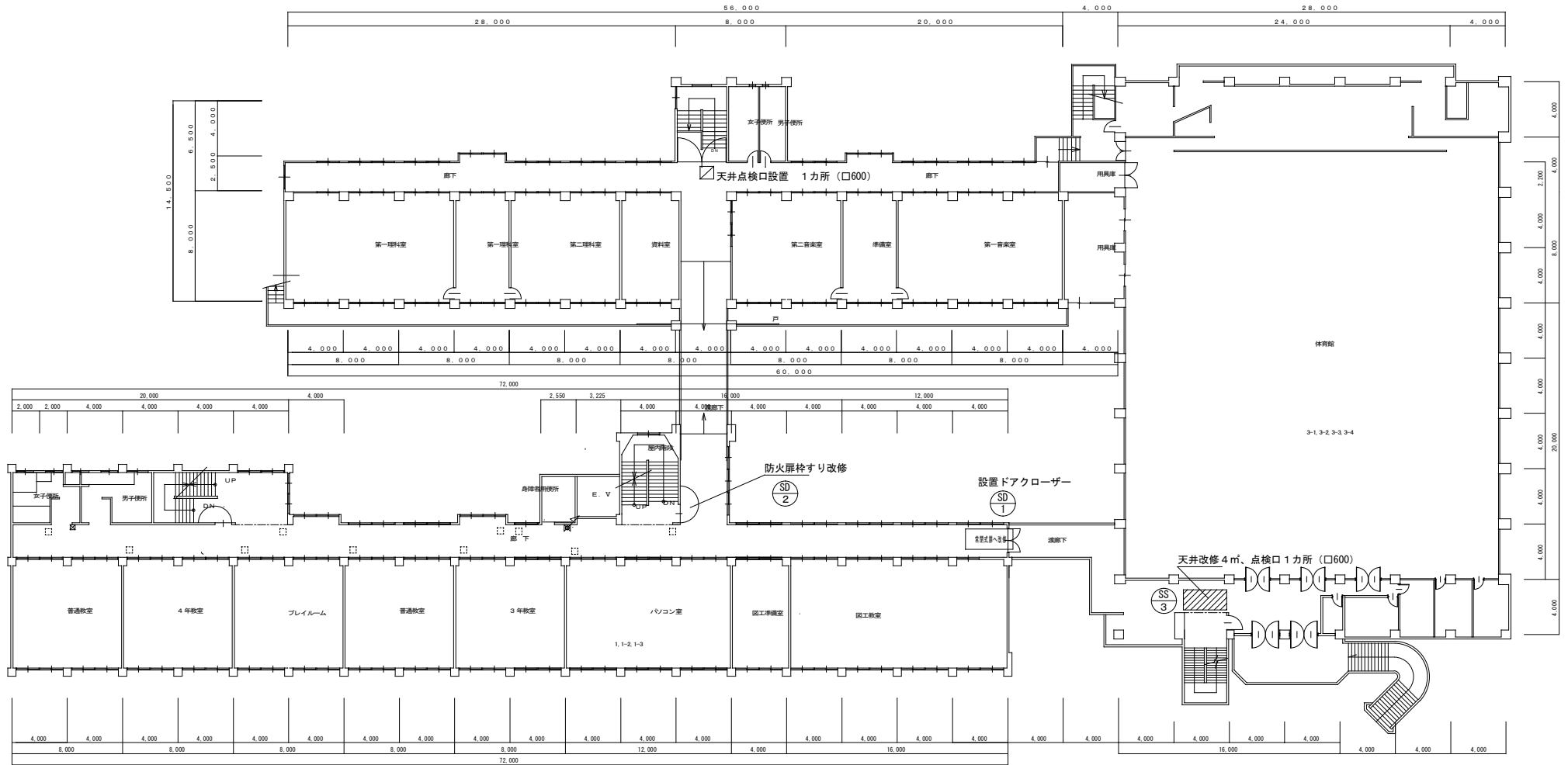
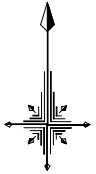
種類	種別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ A種硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3)
断熱材現場発泡工法（収付硬質ウレタンフォーム）

種別	厚さ(mm)	施工箇所
・ A種1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版
・ A種1H	・ ()	・ 下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ ()		・ ()



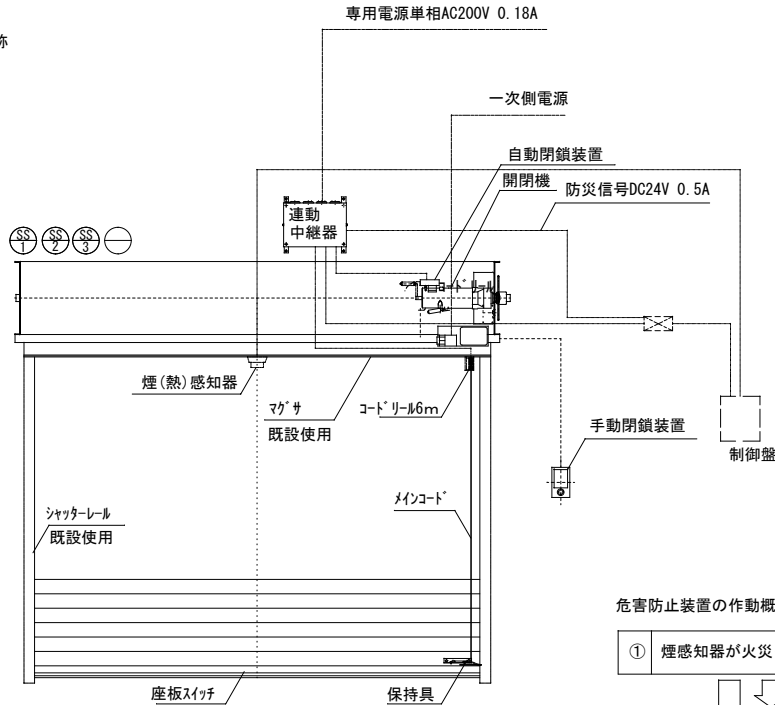
1階平面図 S = 1 / 150



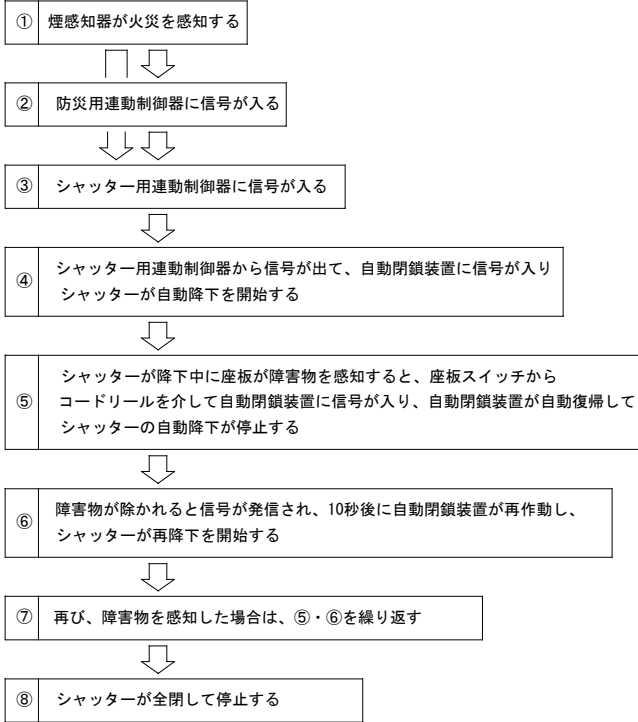
2階平面図 S=1/150

(参考) 危害防止装置の構成部材と名称

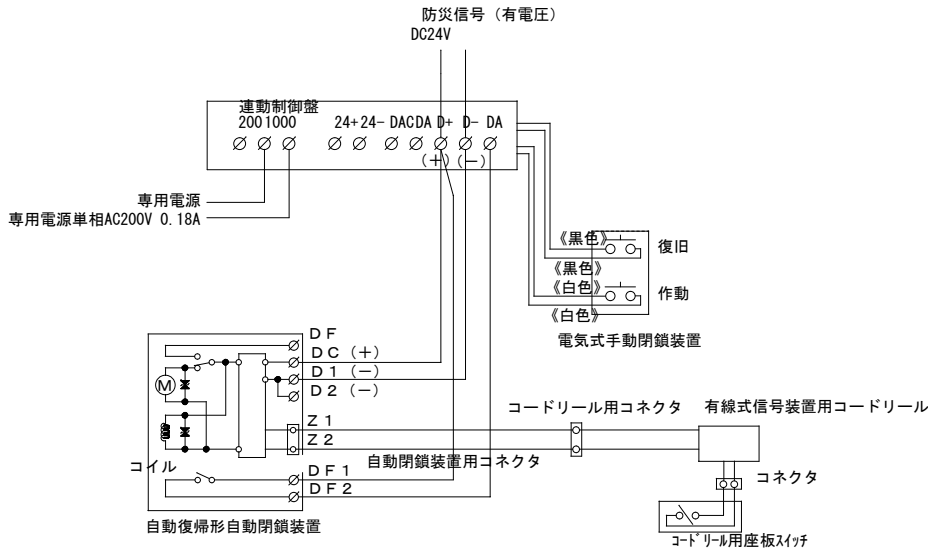
建具表		(改修部品等)
SS1	防火シャッター改修	手動式開閉器・ブラケット交換（駆動側・従動側）・巻取シャフト 座板スイッチ・連動中継器・連動中継器・自動閉鎖装置 手動閉鎖装置（露出型）・中継ケーブル・コードリール6m 有線式信号装置受信機
SS2	防火シャッター改修	手動式開閉器・ブラケット交換（駆動側・従動側）・巻取シャフト 座板スイッチ・連動中継器・連動中継器・自動閉鎖装置 手動閉鎖装置（露出型）・中継ケーブル・コードリール6m 有線式信号装置受信機
SS3	防火シャッター改修	手動式開閉器・ブラケット交換（駆動側・従動側）・巻取シャフト 座板スイッチ・連動中継器・連動中継器・自動閉鎖装置 手動閉鎖装置（露出型）・中継ケーブル・コードリール6m 有線式信号装置受信機
SS4	軽量シャッター新設	軽量バランスシャッター（1,500×2,660） 水圧防止装置付 スチール張りケース新設
SD1	防火戸改修	ドアクローザー取付（2カ所）
SD2	防火戸改修	枠すり改修（研磨の同上系色塗装）



危害防止装置の作動概要は以下の通りです



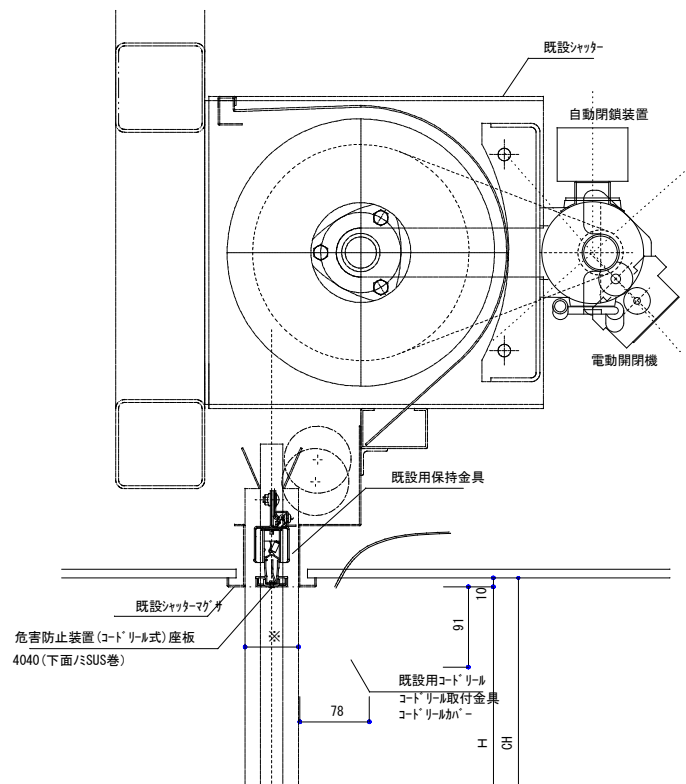
(参考) 結線系統図



特		特	
記		記	

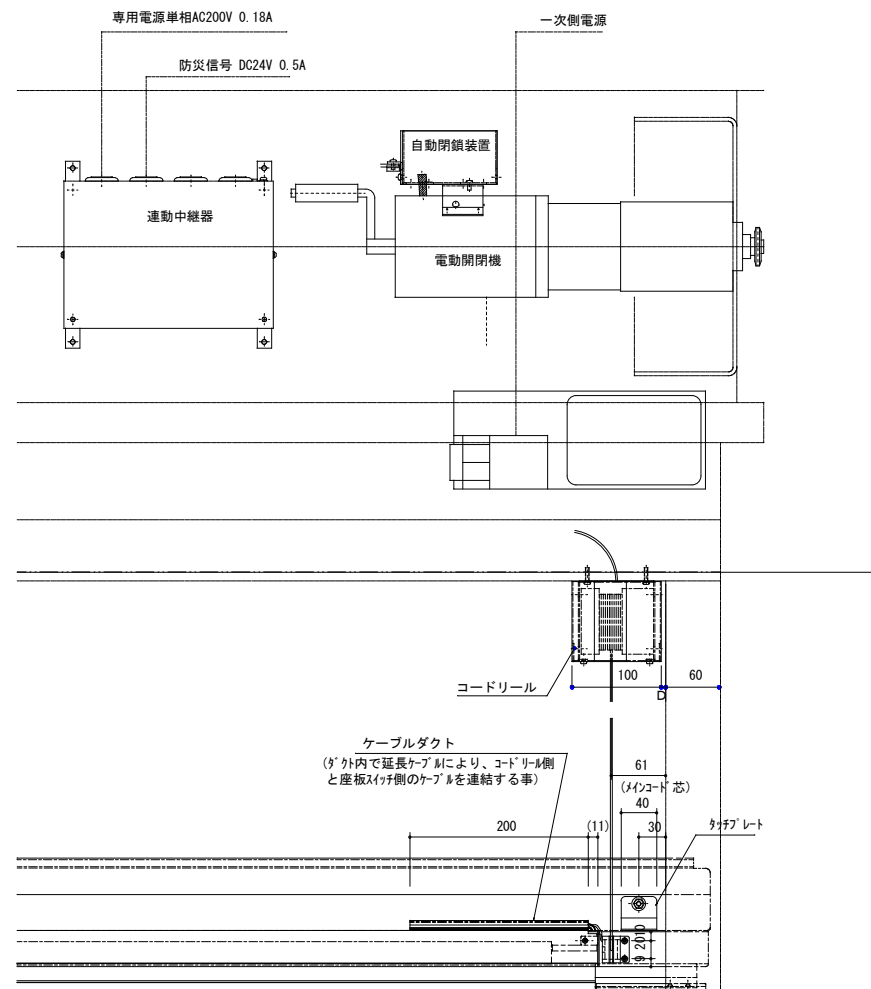
柘植小学校防火設備・消防設備改修工事

図名		建具図・結線系統図・作動概要	
系統	線図	設計	施工担当
備考	N o.	A-6	



建具表

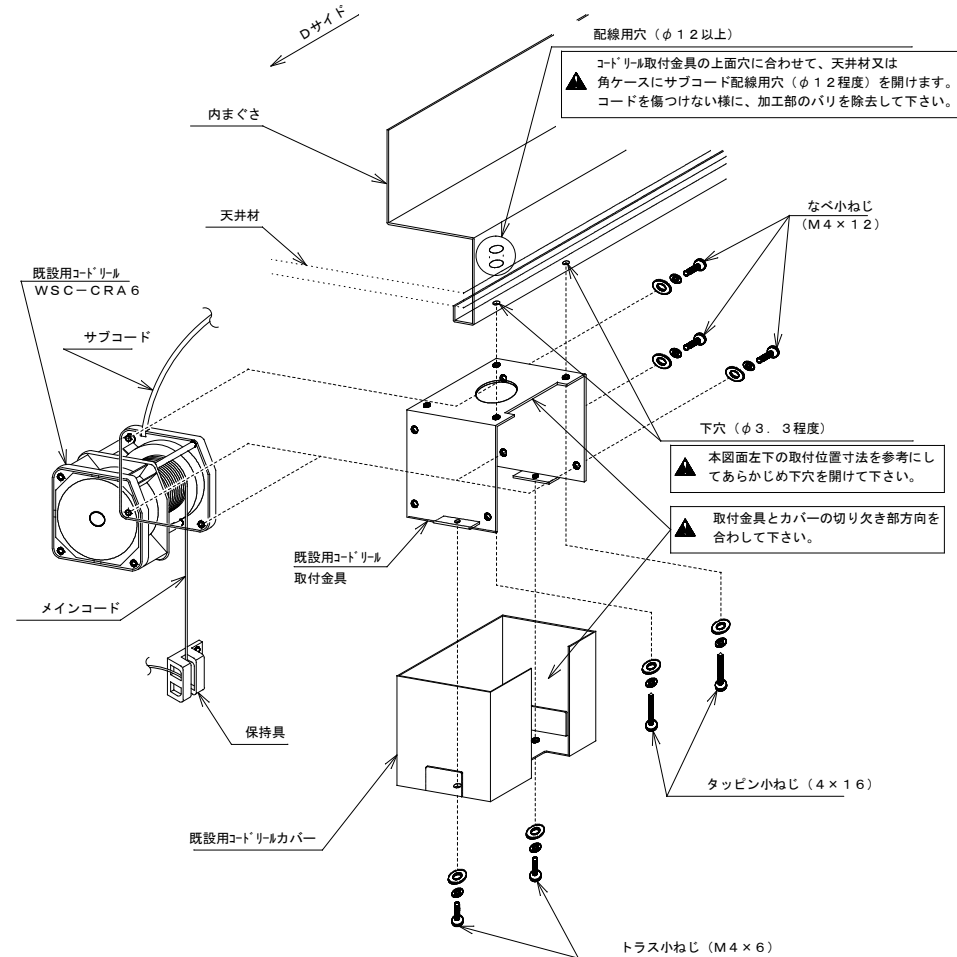
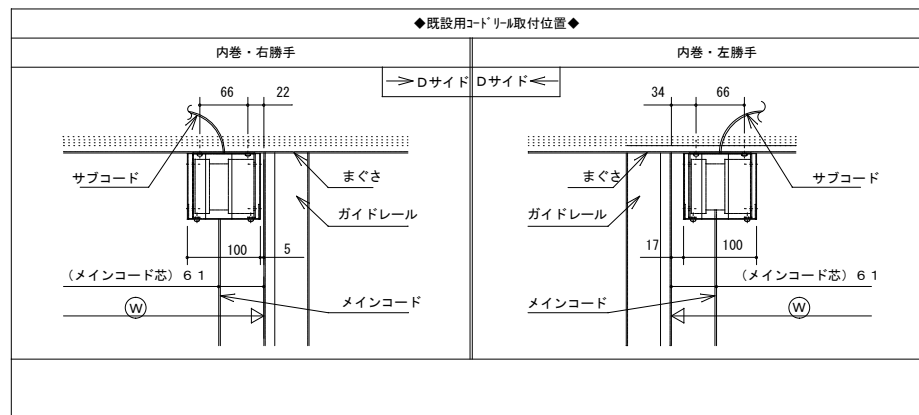
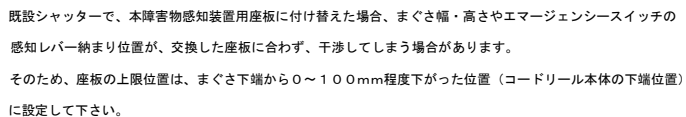
符号	1F	2F	3F	RF	計	WxH	備考
SS-1	1				1	3340×2740	防火シャッター改修
SS-2	1				1	3140x2730	防火シャッター改修
SS-3		1			1	3340x2940	防火シャッター改修
SS-4	1				1	1500×2660	軽量バランスシャッター新設(水圧開放装置付)
合計					4		



以下に、既設用コードリールの取付方法を示す。(天井内(Rケース)及び角ケースで共通)

まず、既設シャッターのまぐさ額縁部に有害な変形・障害物等がないかを確認して下さい。異状がある場合は、補修等を行ってからコードリールの取付作業に移して下さい。

④最後に、取り付けたコードリールの取付状態(ガタ・座板との干渉等の不具合)、メインコードの動作状態(引っかかりがなく、スムーズに動く事)を確認する事。



【Rケース仕様・内巻・右勝手の場合】

電氣設備工事特記仕様書						
I 工事名称	柘植小学校防火設備・消防設備改修工事					
II 工事場所	伊賀市 柘植町 地内					
III 建物概要	<table border="1"><tr><th>建物名称</th><th>住 所</th></tr><tr><td>柘植小学校</td><td>伊賀市柘植町2343</td></tr></table>	建物名称	住 所	柘植小学校	伊賀市柘植町2343	
建物名称	住 所					
柘植小学校	伊賀市柘植町2343					
IV 工事仕様						
① 施行基準	図面及び特記仕様に記載のない事項については以下による。 *国及交通大臣官庁官庁舎整備指針 「公共建築工事標準仕様書 最新版」（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築設備工事標準図書 最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「公共建築改修工事標準仕様書 最新版」（電気設備工事編・機械設備工事編） 「建築工事管理指針」「電気設備工事管理指針」「機械設備工事管理指針」 最新版 *国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築物耐震設計、施工指針２００５年版」 *電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） *電力会社供給約款 *消防関連法規（条例・所轄署指導要領を含む） *電気工事業の業務の適正化に関する法律・電気工事士法・労働安全衛生法 *その他関連法規、関連諸基準					
② 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書ののとりにて施工することと得る不具合が発生したると予想される場合には、その都度、監督員と協議すること。 なお設計図書のとのりでの施工であっても使用上の不適合が生じた場合は協議の上、改善策を講じること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足により差支的な仕上がりや不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。					
・ 施工計画等	受注者は、施工に先立ち、次の書類を提出し、監督員と打合せを行うこと。 *総合施工計画書 *詳細施工図（施工図リストを含む） なお、これらの書類の作成に際し、施工上密接に関連する工事との納まり等について十分検討すること。					
・ 工事使用材料等	工事に使用する機器及び材料等については、予め、次の書類を提出すること。 *使用機材届出書（メーカーリスト） *機種明細図 *カタログ・製作図・その他諸資料 なお、機器及び材料等の選定にあたっては電気設備工事指定資材見録－メーカー（参考）及び国土交通大臣官庁舎整備指針「建設材料・設備機材等品質性能評価事業」評価名簿（最新版）又はこれらと同等級以上のものとする。 また、品質が求められる水準によってあれば、市内主産品の優先利用に努め「みえ・グリーン購入基本方針」に準ずること。					
・ 工程表	関連業者間に十分に協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお月間工程表には埋設、隠蔽、高所等の確立確認項目の該当時期を印すること。					
・ 工事写真	国土交通大臣官庁官庁舎整備指針「工事写真の撮り方（改訂第３版）－建築設備編」によるほか監督員の指示により撮影し、電子納品及び以下のものを提出すること。 なおＣＤの提出部数は「電子納品」を参照 *代表写真（不可視部分材料、寸法写真、拡大写真、撤去処分品、搬出状況等）を抽出し判相当サイズで印刷。（Ａ４用紙横に両面印刷にて３枚／ページ） １部					
・ 完成写真	主たる電気設備の全景写真を黒板無しにて撮影し、Ｌ判相対サイズで印刷す。 *（Ａ４用紙横に３枚／ページ） １部 撮影箇所は主要機器類、室内及び外構等の電気設備とする。詳細は監督員と協議する。					
・ 完成書類	工事完成された時は各種の試験及び検査を受けるものとする。 書類については以下のものと並び記録書を併せ、監督員の指示に従い取りまとめ提出する。 *工事完成報告書、工事目的物引渡書、完成写真 *製本図面（竣工図）：図面枚数が少ない場合、合冊でもよい。 竣工図は、原図サイズ及びＡ３縮小版を各２部・施工図は、原図サイズ１部。 白焼き（青焼き可）で文字濃いのないこと。表紙（可能な範囲で背表紙にも）に「年度、工事名、工期、竣工図（又は施工図）、受注者名」を印章（シール不要）すること。 *引渡目録、工事書類預け書 *工事書類（工事写真、安全教育・訓練に関する書類、産業廃棄物処理集計表等） *工事書類（合計記録、工事材料搬入報告） *完成図書（試験成績表、自社検査記録、機器完成図、取扱説明書、保証書、機器銘板写し等） *官公署手続き書類等（検査済証、工事届出書、設置届出書、電力会社届出書類等） *その他監督員の指示する書類 ただし、作成しがたい場合は、監督員とは協議による。 なお、完成書類の著作権にかかわる使用权は発注者に移譲するものとする。					
・ 完成確認、完成検査時の電源確保	機器の動作確認、電圧・極性・相回転等の確認が出来よう電源を確認すること。 消火法に基づき消防設備の点検調査の上、「消防用設備等設置届出書」を消防本部予防課へ届出すること。					

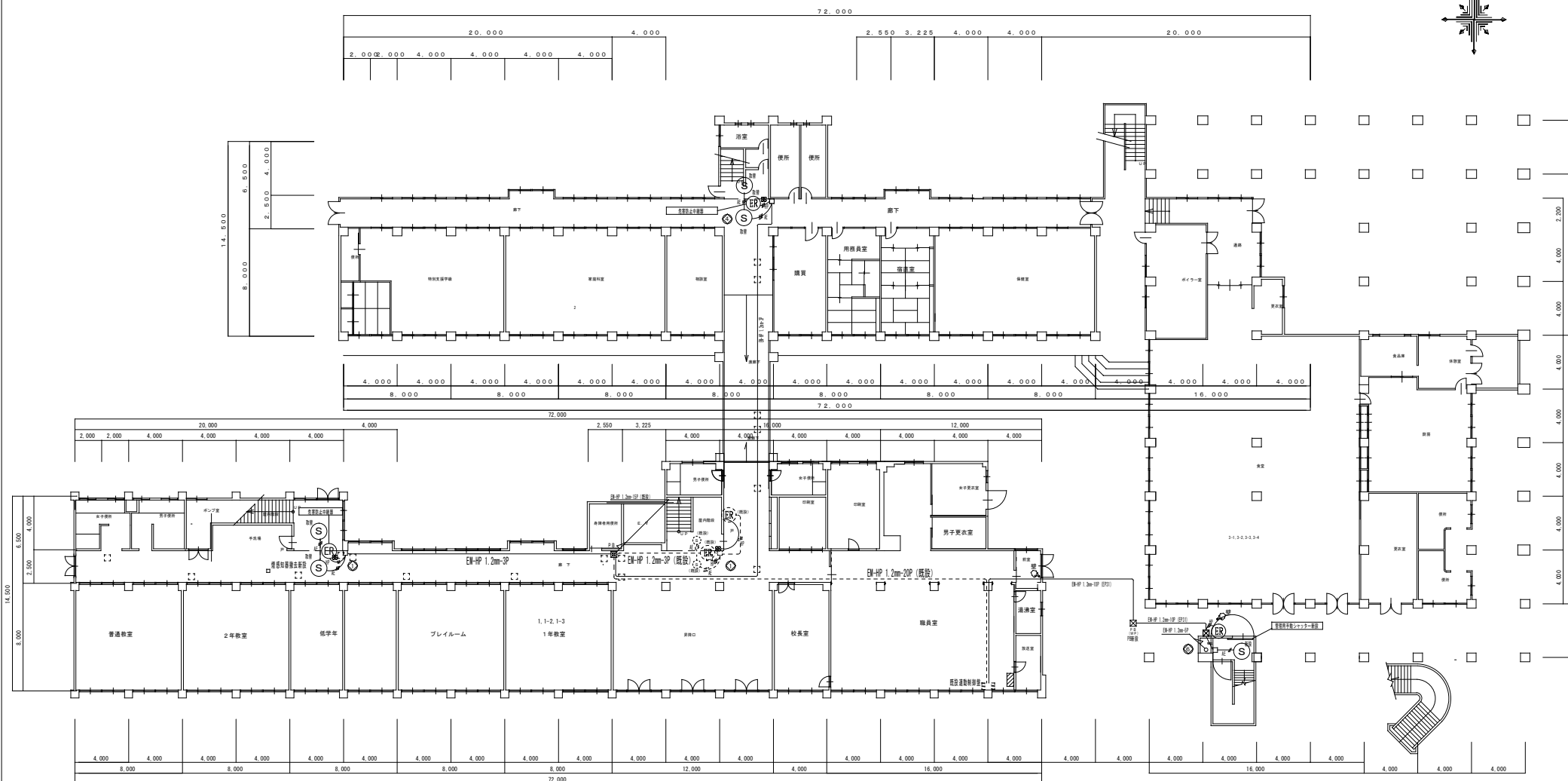
項 目	特 記 事 項
・ 施工条件	監督員及び関係部署と協議調整し決定すること。
・ 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置については監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取調査、検証等に協力すること。
・ 発生材の処理等	引き渡しを要するもの（ 上記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。 特別管理産業廃棄物 □炭灰部 □コンクリート □その他（ ） 処理方法 ■現場内の監督員の指定する場所へ保管 なお施工に際して、ＰＣＢ等特別管理産業廃棄物、及び疑わしい機器等が発見した場合は監督員に報告し対応を協議するものとする。 発注者へ引き渡しを要するものについては「現場発生品調査」を提出すること。また再利用を図るものについては調査を作成し、監督員へ提出すること。引渡を要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（資源循環法の）、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。（ニュースタートE系等の資材は監督員に提出する）
・ 残土処分	口構内敷きならし 口構外搬出（片道運搬距離 約 km）
・ 電子納品	工事完成図書は、竣工図・施工図のCADデータ（JWWJ）及びPDFを格納。
・ 諸手続	工事に伴う関係官公署、電力会社、電気保安管理者等への諸手続きは、受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含む。 消防法に基づく消防設備の点検調査の上、「消防用設備等設置届出書」を消防本部予防護へ届出すること。
・ 既設との取合い	本工事施設に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。
・ 既設設備の調査	既設設備の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響を来さないよう、現地工事着工前に充分な調査をおこなうこと。又、施工前後で比較を行うよう工事開始前に総検核測定表を行っておくこと。新築、加築等でも自家発電工作物の範囲が変更にならない場合、その供用開始から引渡までの電気保安関係にかかる費用は本工事に含まれる。
・ 不当介入を受けた場合の措置	暴行団員等による不当介入（三重県公共工事等暴行団員等排除対策要綱第2条第1項第1第10号）を受けた場合の措置について （1）受注者は暴行団員等（三重県公共工事等暴行団員等排除対策要綱第2条第1項第1第8号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 （2）（1）により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は文書で行うこと。 （3）受注者は暴行団員等により不当介入を受けたことか工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
3 耐震基準	耐震措置の計算及び施工方法は、次の事項以外は全「官庁施設の総合耐震設計基準及び同解説平成8年版」（建設大臣官庁建築官庁建築部監製）及び「建築施設耐震設計・施工指針（2005年版）」（国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人・建築研究所監製）による。 （1）局部震度法による建築設備機器の設計用基準水平震度（K_{se}） （2）地域係数は1.0とする。 （3）自重が100kg以下の比較的軽微な機器（標準仕様書の適用を受けるものを除く）の取付については、取付下地を念入に施工し、標準メーカーの指定する方法で確実に取付を行うものとするが、監督員の承認を受ける。 （4）配管配線及びダクトの支持は、標準仕様書及び標準図力による。 （5）機器の耐震計算書は提出すること。 重量1kN（100kg）以上のアンカー-取付機器 ※錠機、支柱器、発電設備及び補機類、燃料タンク等槽類、その他監督員が指示するもの。
4 施工	（1）塗装 ・ 指定色で2回塗りとする。 金属質、2層金属鍍び、吊りボルト、支持具等鋼板装（SUS、溶融亜鉛メッキ、樹脂塗装を除く）は原則として塗装を施すこと。 （2）先行表示等 ・ 分電盤、端子盤、制御盤、プルボックス、ハンドホール内の電線ケーブル類にはケーブルサイズ及び先行表示を施すこと。 （3）セパレータ ・ 分電盤、端子盤、制御盤、コンセント内等にて強電回路、弱電回路が混在する場合はセパレータを取り付けること。 （4）保護キャップ等 ・ レースウェイ等のダクターリップが、人が容易に近づける場所、高さ（おおよそ2m以下）にある場合は保護キャップを取り付けること。 （5）地中埋設配管及び埋設表示板、シート （6）防火区画部は国土交通大臣認定工法にて防火区画処理を行うこと。 （7）梁、躯体貫通箇所は防振処理を必要とする。 （8）今回改修工事にあつては、施工上自然とめられる工事は本工事に含む。 （9）施工に伴い、既設除去に伴い不要になった配管、配線の撤去を行うこと。 （10）防火区画貫通部分には日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。 （11）機組、配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理を行う。
5 その他	（1）使用機械 ・ 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。 （2）測定機器の校正記録 ・ 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。測定に先立って使用する測定機器の検査記録（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。 （3）設計図書上に示すメーカー型番・型番等とは参考とする。

工事範囲		☐ 配管 ☒ 配線 ☒ 機器取付 ☐ 消防検定申請費 ☐ 種 別 ☐ 電話設備 ☐ テレビ設備 ☐ 放送設備 ☒ 自動火災報知設備			
発電・自 動火報 知設備	通話操作盤	10 回線 ☒ 単線 ☐ 複合型（防火扉 回線＋ガス漏れ 回線）			

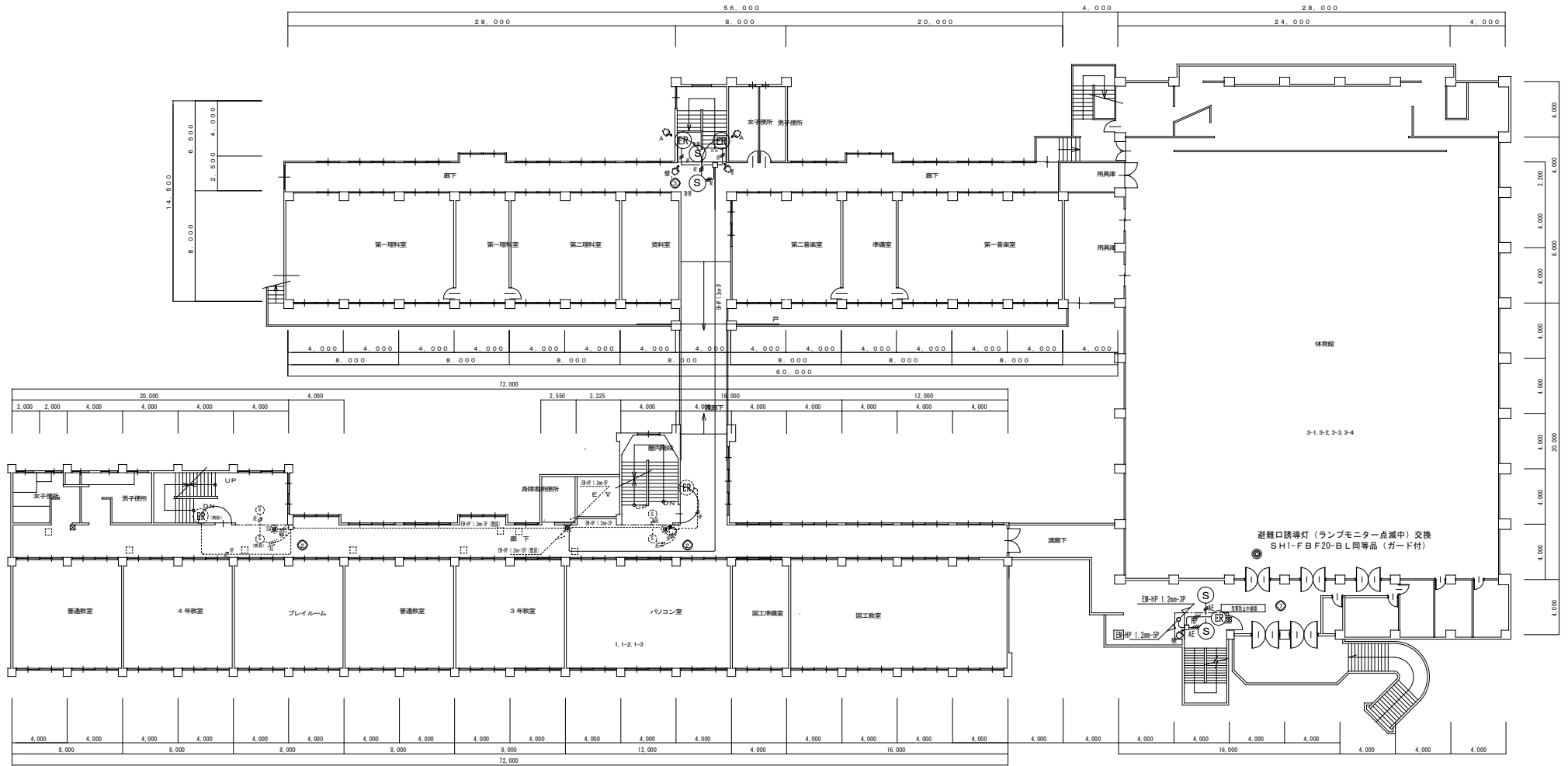
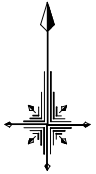
分 類	資 機 材 名	通 用 範 囲	規 格 ・ メ ー カ ー 等
電線	電線、ケーブル類 (エ工電線、ケーブルを 喪失使用)	一般配線工事に使用する もので、エ工電線、ケー ブルのあるもの 上記以外の一般配線工事 に使用するもの	●JIS規格適合品 ●JCS (日本建築工業会規格) 規格適合品
	耐火、耐火電線 (エ工電線、ケーブルを 喪失使用)	耐火、耐火性を必要とする 場所に使用するもの	●登録認定機関 (社) 電線総合技術センター) または指定認定 機関 (社) 日本電線工業会 (耐火、耐火電線認定委員会)) により認定または指定されたもの ● (社) 日本電線工業会により自主認定 (評定) されたもの
	圧着端子 挿圧スリーブ	一般配線工事に使用する もの	●JIS規格適合品
電線保護物類	金属管、VE、PF、H IVE、FEP、CD、 合成樹脂製電管等、可 とう電線管、フロア管、 各付属品	一般配線工事に使用する もの	●JIS規格適合品 ●JIS規格のない物については、電気用品の技術上の基準を 定める省令の適合品
配線器具	コンソネット、スイッチ	一般配線工事に使用する もの	●JIS規格適合品 ●JIS規格のない物については、電気用品の技術上の基準を 定める省令の適合品
照明器具	固定形器具 (省エネ工を喪失使用)		●JIS規格適合品 ● (社) 日本照明器具工業会標準 (J-SI規格) 適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
分岐箱	分電盤、実験盤		●JIS規格適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
	制御盤		● (社) 日本制御システム工業会規格 (J S I A) 適合品 ※メーカーは「設備機材等評価名簿」による
自動火災検知と感知	感知器、発煙機、中継器、 受信機、消火火災警報器		●登録認定機関 (日本消防防犯協会) の検定を受けた、検定合格 証書を添付されたもの

記 号	名 称	備考 (参考品番)	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	概設	A□	メタルモールA型にて立下げ	
	運動制御盤	SAP-004-B1-10L型	B□	メタルモールB型にて立下げ	
	光電式スポット型煙感知器 (取込光式)	F0K6879	C□	メタルモールC型にて立下げ	
	自動消火装置	NSS-DG-N1	壁□	壁貫通および補修箇所	
	照明器具 天井取付け	概設汎用	天井□	天井貫通および補修箇所	
				防火区画貫通	
				径 45F 2.0 x 3.1 (C = 55)	
				貫通鎖	

記 号	名 称	備考 (参考品番)	記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	既設	A	メタルモール A 型にて立下げ	
	通断制御盤	SAPJ004-S1-10L 型	B	メタルモール B 型にて立下げ	
	光電式スポット型煙感知器 (数乱光式)	FD66879	C	メタルモール C 型にて立下げ	
	自動閉鎖装置	NSS-03-N1	壁	壁貫通および補修箇所	
	照明器具 天井取付	既設汎用	天	天井貫通および補修箇所	
				防火区画貫通	
				鉄壁 2.0x(110 - 図)	
			- -	断熱線	



1階平面図 S=1/150

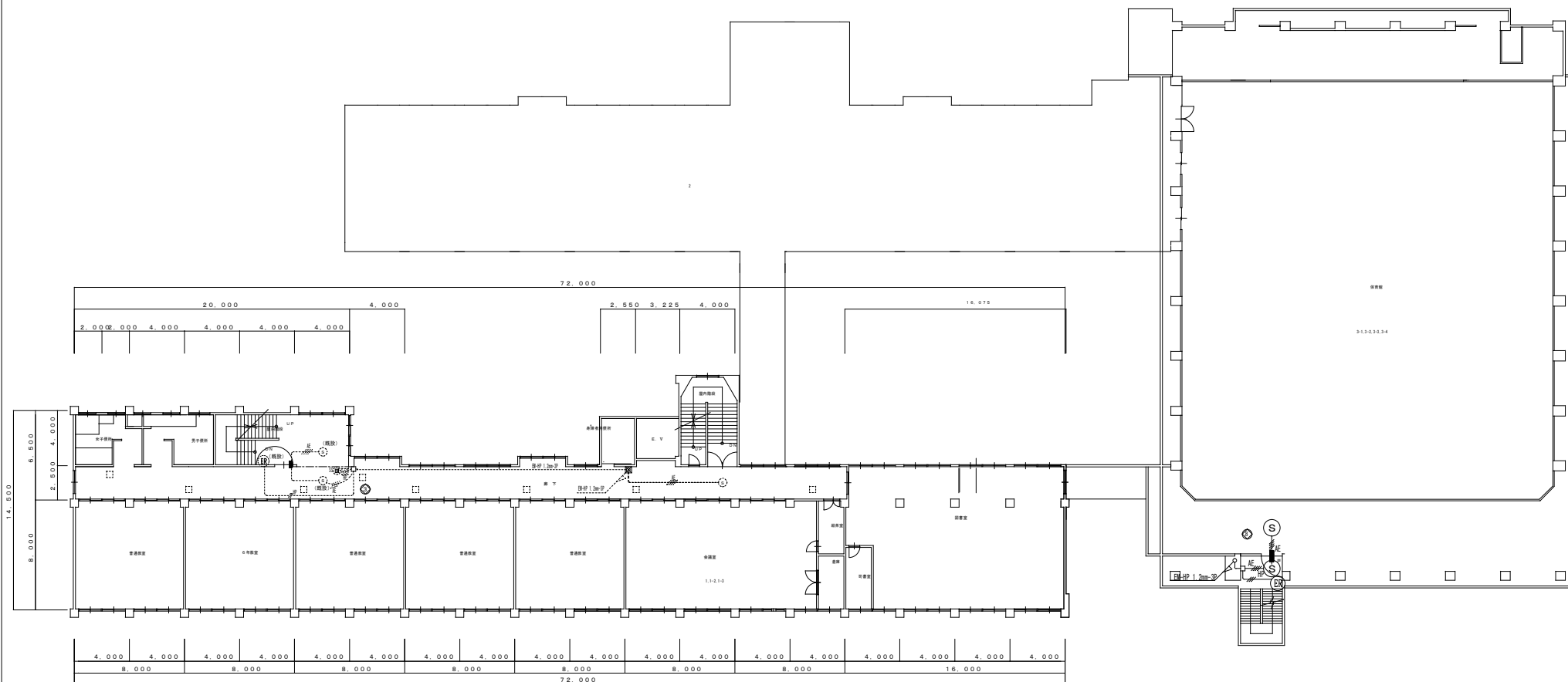


2階平面図 S=1/150

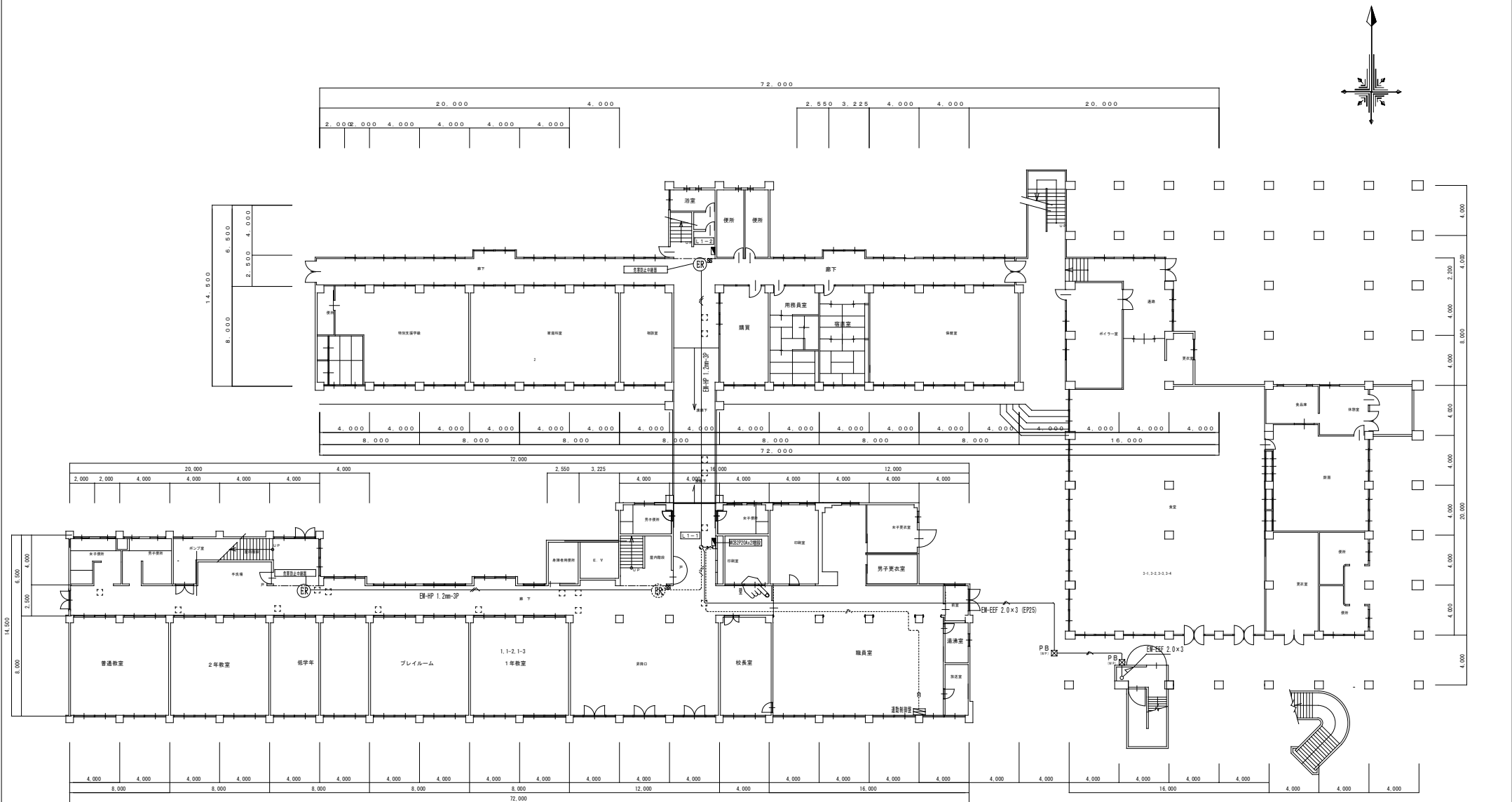
特記		特記	

柘植小学校防火設備・消防設備改修工事

図名	柘植小学校 防火設備・消防設備図(2階) 信号線			
承認	設計	工事担当	備考	
A1: 1/150				E-3

3階平面図 $S = 1 / 150$

特 記	特 記	柘植小学校防火設備・消防設備改修工事	図名 柘植小学校防火設備図(3階) 信号線				
			承認	検 査	設 計	工事担当者	備 考
						A1:1/150	図番 E-4

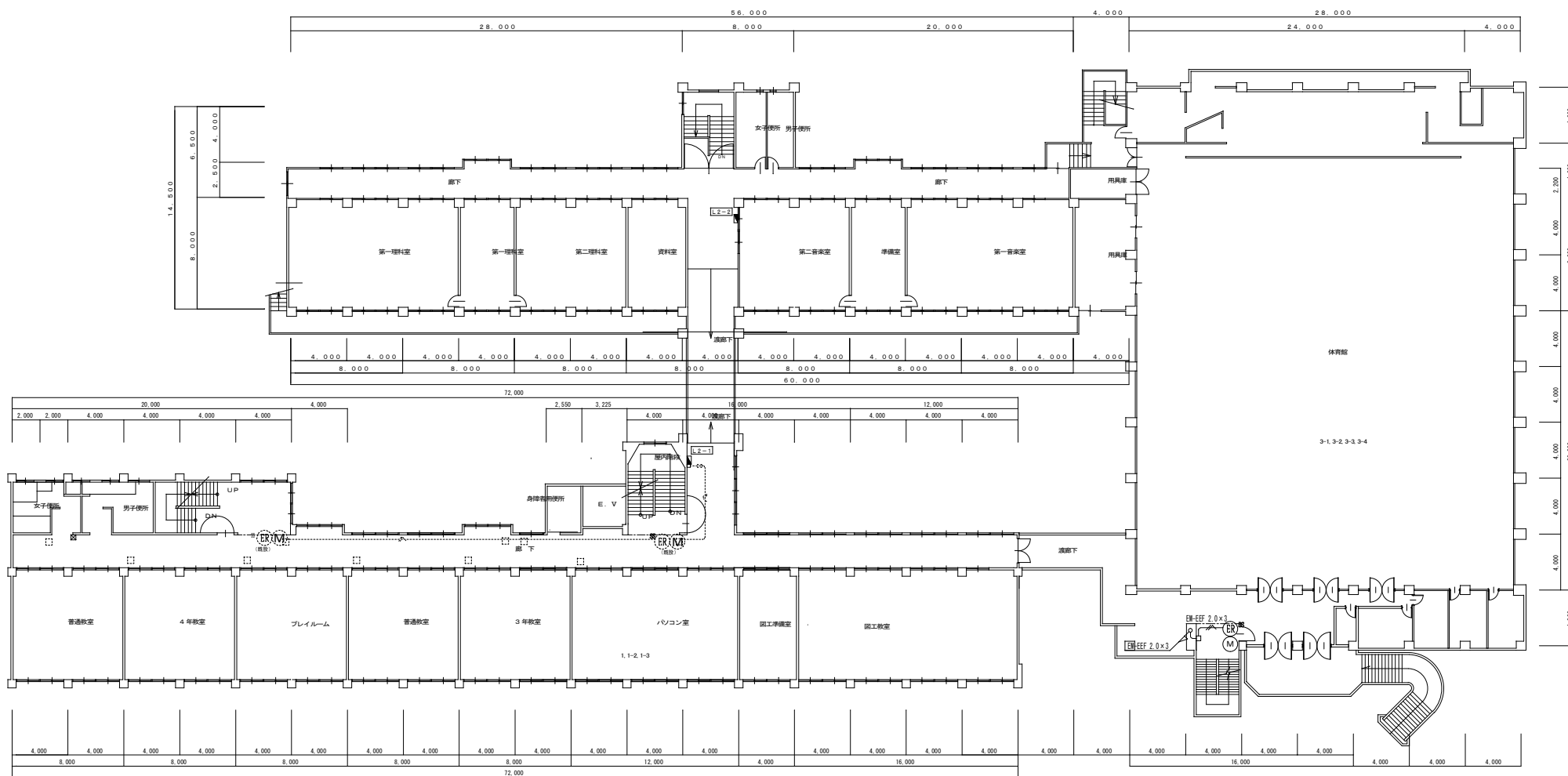


1階平面図 S=1/150

特		特	
記		記	

柘植小学校防火設備・消防設備改修工事

図名	柘植小学校防火設備図(1階) 危害防止装置電源			
承認	図	設計	工事担当	備考
				図面 No. E-5



特 記		特 記	

図名	柘植小学校防火設備図(2階) 危害防止装置電源				
承認	検図	設計	工事担当者	縮尺	
				A1:1/150	図面 No. E-6